

ITmedia

DX Summit

Vol.15

今こそ、DXでなすべきこと

Produce by

ITmedia
イグゼクティブ

ITmedia
イマ-プライズ

ITmedia DX Summit

開催概要

会期名称

ITmedia DX Summit Vol.15

主催



開催日時

2023年2月下旬～3月上旬予定
※テーマごとに開催日が異なります

イベント形式

集合型オンラインセミナー

視聴方法

無料登録制

想定登録者
属性

経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

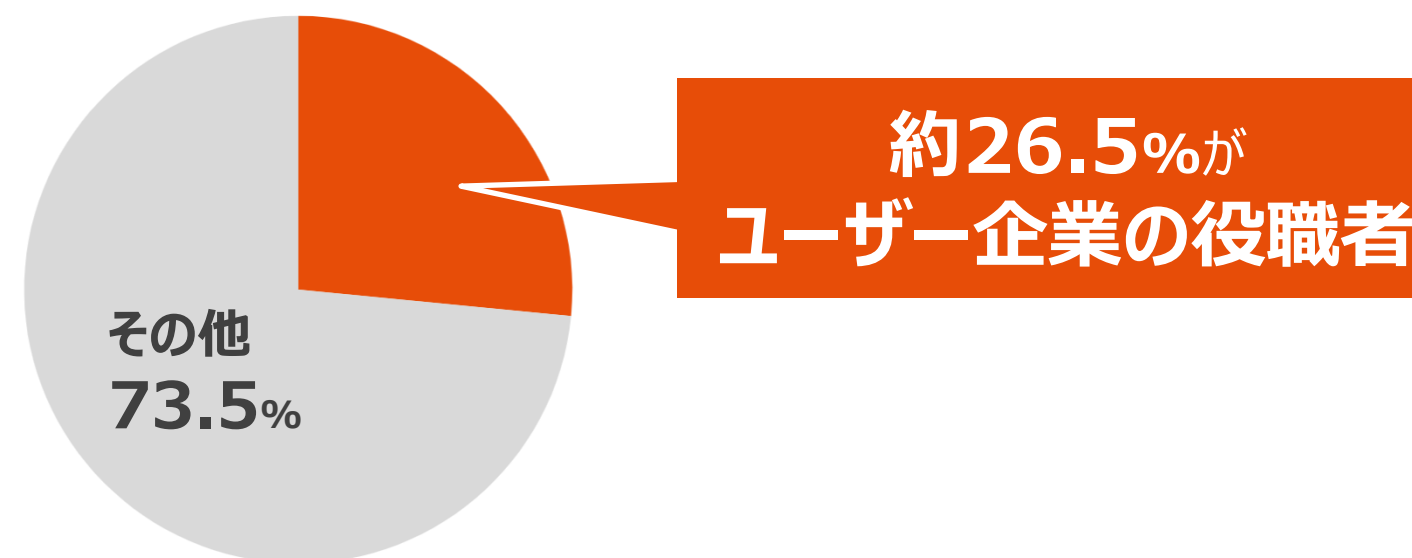
告知/集客

ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

運営

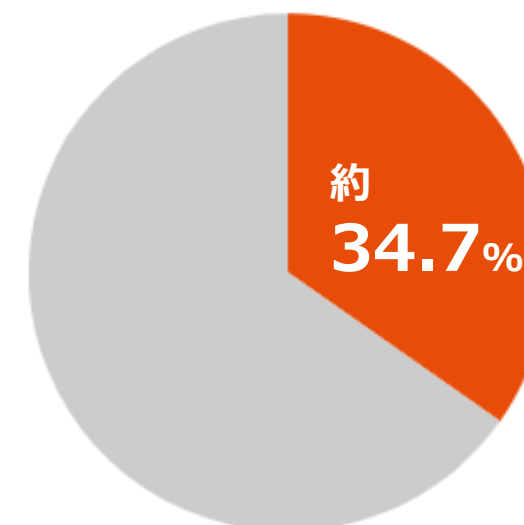
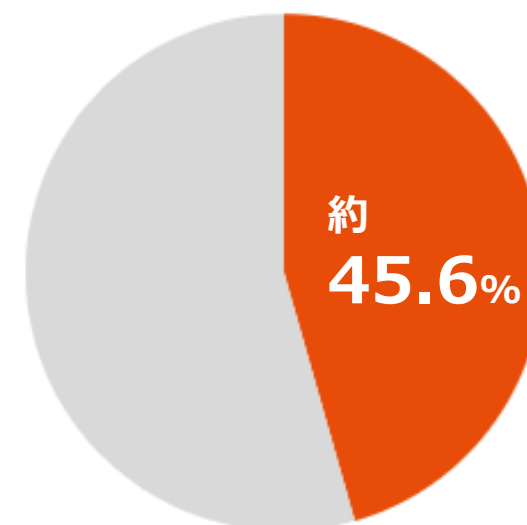
アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

過去登録者



■ユーザー企業

■従業員500名以上の役職者



本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

“DXという言葉”が飽和した今、改めて説く
「成果につながるデジタルシフト」の実現要件、方法、手段

「既存業務の単純IT化」で止まってはいませんか？

業務やビジネスコミュニケーションのデジタル化が加速し、早3年近くが経過しました。
この間、多くの企業が進んでITを取り入れ、紙業務のデジタル化、自動化による効率化などの事例が
各種メディアで多数報告されています。

しかし「DX」がなじみ深い言葉となるに従い本来の意味も失われ、
昨今は単なる「IT化」を示す記号と化している傾向が強うかがえます。

DXで大きな成果を獲得した企業と、そうでない企業の二極化が進行しているのも、その一つの現れと言えるでしょう。
両者の違いとは言うまでもなく、DXを「ビジネスプロセス／モデルの変革」と捉えたか、「既存業務のIT化」と捉えたかの違いです。
ビジネスとITが一体化している今、取り組むべきは「局所的な業務の効率化」だけではなく、
「全社単位のビジネスの在り方、ビジネス展開の仕組み」を見直すことなのです。

ただ、これが具体的に何をすることなのかイメージしにくいのも事実。しかし具体化しない限り、前進はありません——
ITmedia DX Summit Vol.15は「DXでなすべきこと」を複数視点で詳説。
今こそ「自社のDX」を見直し、舵を切り直すためのトリガーを提供します。

Vol.15

今こそ、DXでなすべきこと

Section1

ITmedia ITセミナール Day エグゼクティブ DXセミナー

デジタルテクノロジーを活用した「DX」は日本企業の動きの鈍さに対する切り札と期待されていますが、環境の変化に応じて俊敏にビジネスモデルを変えていくには、企業文化や風土もあわせて変革することが求められます。DXを推進する「スマート化構想」とそれを支える統合プラットフォームの取り組みについてご紹介します。

Section2

クラウド バックアップ

ハイブリッドクラウドを前提としたソリューションが増える中で、システムやデータ保護の方法にも選択肢が増えてきました。負荷分散やサービス配信最適化のためにクラウド基盤を活用する事例も増えています。コンプライアンスやガバナンスを含め、一貫した運用の中でデータをどう保護するかを、最新のテクノロジーを生かした最適解を考えていきます。

Section3

ハイブリッド クラウド基盤

あらゆるITサービスがSaaSなどのクラウドにシフトし、企業IT基盤も事業継続性や生産性向上を前提にクラウド化する中で、従来コロケーションの拠点からクラウド戦略の前線へとデータセンターの立ち位置も大きく変わりつつある今、積極的な投資により、差別化を進めるデータセンター事業者との新しい付き合い方を見ていきます。

Section4

業務オペレーション 自動化

コロナ禍を経て企業のクラウド利用が拡大したこと、一部のAI技術がこなれてきたことで、自動化できる業務の幅が大きく広がりました。大局的な視点で事業収益の視点から業務プロセスそのものを見直す動きが活発になっている状況を鑑み、本イベントでは技術的なトレンドを踏まえながら、最新の業務自動化の動向を紹介します。

Section5

計画業務最適化と データ活用の民主化

激しい経営環境の変化にさらされる企業各社は商機に素早く対応し、リスクを察知してリカバリーする能力が求められます。将来に影響を与えるパラメータが無数にある現代において、合理的なプロセスに基づき変化への対応スピードを高めるためにはどうすればいいのでしょうか。予測不能な未来を前提に計画業務の見直し方、将来予測の在り方を考えていきます。

※各テーマには調整が入る場合がございます。

ITmedia
「エグゼクティブ」 Day

ITmedia エグゼクティブ DXセミナー

コロナ禍もようやくウイルスとの共存、そして収束というゴールが見え始めてきましたが、ビジネスを取り巻く環境は大きく変わってしまいました。しかも厄介なことに、先が見通せず、変化が常態化しようとしています。ここでも懸念されるのは日本企業の動きの鈍さです。これまでの延長線上に明るい未来が見通せない中、変革は避けては通れません。

デジタルテクノロジーを活用した「DX」はその切り札と期待されていますが、環境の変化に応じて俊敏にビジネスモデルを変えていくには、企業文化や風土もあわせて変革することが求められます。DXを推進するには、何よりもビジネスへの深い理解が欠かせないのです。

ITmedia エグゼクティブ DXセミナーでは、行き過ぎた海外生産や外部委託による技術の空洞化に歯止めを掛けて「モノづくり力」の再構築に取り組むカシオ計算機の虻川勝彦 デジタル統轄部 統合プラットフォーム部長をお招きし、すべてのプロセスをつなぎ、スマート化する「スマート化構想」とそれを支える統合プラットフォームの取り組みについてご紹介いただきます。

開催日 2023年2月21日 (火)

**ご協賛
申込締切** 2022年12月2日(金)

クラウド バックアップ°

ハイブリッドクラウドを前提としたソリューションが増える中で、システムやデータ保護の方法にも選択肢が増えてきました。負荷分散やサービス配信最適化のためにクラウド基盤を活用する事例も増えています。コンプライアンスやガバナンスを含め、一貫した運用の中でデータをどう保護するかを、最新のテクノロジーを生かした最適解を考えていきます。

視聴者の抱える課題意識

提供サービスのレジリエンスを高めたい

バックアップ環境のコストと運用を最適化したい

有事のシステム復旧プロセスを高度化、
自動化したい

ストレージのコスト最適化を進めたい

ランサムウェア対策に強いバックアップ手法を検討中…

— Key word —

wormストレージ、イミュータブルストレージ、BLOBデータの保全、
ランサムウェア対策、クラウドバックアップ、データ保護、データ保全

開催日 2023年2月22日（水）

ご協賛
申込締切 2022年12月2日（金）

ハイブリッドクラウド 基盤

あらゆるITサービスがSaaSなどのクラウドにシフトし、企業IT基盤も事業継続性や生産性向上を前提にクラウド化する中で、データセンターは従来コロケーションの拠点からクラウド戦略の前線へと大きく変わりつつあります。同様にオンプレミスシステムの位置付けも単なるレガシーから戦略的なものへと変化しています。企業のビジネスリーダーやITリーダーは、異なる特性を持つこれらの基盤を自社の事業やサービスの強みに生かすべく最適な組み合わせで選択し、成果を出していかなくてはなりません。本イベントは、システムのモダナイズを超えて次の事業やサービスを生み出す源泉としてのIT基盤の在り方を見ていきます。

システムモダナイズ、内製化、アジャイル化を念頭に
IT基盤を見直したい

オンプレミス、データセンター、クラウドの運用環境をパフォーマンスとコスト、
今後のIT戦略を踏まえて総合的な視点から選定したい

サービス提供品質を考慮した
クラウド基盤選定を考えたい

クラウドエコシステムのメリットを最大化したい

視聴者の抱える課題意識

自社の今後のIT戦略、
DXのビジョンと合致したIT基盤を探したい

コスト最適なクラウドリソース調達計画を実現したい

— Key word —

戦略的IT基盤選定、クラウド戦略の中でのデータセンター選定の指針、サービス品質高度化、コスト最適なクラウド調達

開催日 2023年2月24日（金）

ご協賛
申込締切 2022年12月2日（金）

業務オペレーション 自動化

各業務システムのモダナイズやクラウド化により、コード化、プログラム化して連携させられる業務が増えています。また、音声や映像なども機械可読性のあるデータとして保持できるようになってきました。従来、部分最適でしか実現しなかったバックオフィスオペレーションなども、大局的な視点抜本的に見直す動きが活発になっています。本イベントでは技術的なトレンドを踏まえながら、最新の業務自動化の動向を紹介します。

視聴者の抱える課題意識

バックオフィス部門の肥大化を解消したい

部門間の「表計算シート」リレーを解消したい

SaaSツール間をつないで人を介さない
業務の受け渡しを実現したい

人為ミスやコンプライアンス対応を
ロジックで解消したい

部門間のシステムの分断をなんとかしなければ

— Key word —

iPaaS、
ワークフロー自動化ツール（RPA、AI-OCR、自然言語処理、チャットbot、音声合成）

開催日 2023年3月8日（水）

ご協賛
申込締切

2022年12月16日（金）

計画業務最適化と データ活用の民主化

ご協賛
申込締切

2022年12月16日（金）

DXの進展とともに産業界のさまざまな領域でプレーヤーやビジネスモデルに変化が起こっています。今までの勘や経験が通用しない変化に企業各社は素早く対応しなければなりません。この時必要なのは、（1）誰もが客観的な「事実」から新たな真実を発見する力を持つこと、（2）科学的な根拠に基づき将来のリスクを察知してリカバリーする能力を持つことです。将来に影響を与えるパラメータが無数にある現代においては、合理的なプロセスに基づいて変化への対応スピードを高める必要があります。本イベントは、予測不能な未来を前提に、2日にわたり、データに基づく客観的事実を基に意思決定を進める方法と、さまざまな因子を掛け合わせた合理的な計画業務のあるべき姿を紹介していきます。

Key word

2023年3月9日（木）

計画業務の 脱Excelを考える

計画業務、ERP、S&OP、SCM、
在庫管理・在庫可視化ソリューション、
SCP系ソリューション 等

2023年3月10日（金）

サイロ化したシステムから 業績を読む方法

データ分析、BIツール、データ分析コンサルティング、
中堅企業向けのSAP導入支援 等

視聴者の抱える課題意識

部門ごとの予算策定や計画が
属人的になっていて、
計画見直しに時間がかかり、
経営リスクになっている

需給の変動が激しく、計画見直しが
高頻度に発生している

収支と事業計画の一貫性に
課題を感じる…

事業の統廃合や組織変更など、事業環境の
変化が激しく、収支や業績見込みを
また修正しなければならない…

※想定申込者数は2日間合わせて200名となります。

ITmedia DX Summit

Schedule

開催予定日

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
2/20	21 ITmedia ITmedia Day エグゼクティブ DXセミナー	22 ITmedia ITmedia Day クラウド バックアップ	23 祝日	24 ITmedia ITmedia Day ハイブリッド クラウド基盤	25	26
27	28	3/1	2	3	4	5
6	7	8 ITmedia ITmedia Day 業務オペレーション 自動化	9 ITmedia ITmedia Day 計画業務最適化と データ活用の民主化	10 ITmedia ITmedia Day	11	12

タイムテーブル

13:00~ 13:40	13:50~ 14:20	14:30~ 15:00	15:10~ 15:40	15:50~ 16:20	16:30~ 17:00
基調講演 1-1	スポンサー セッション 1-1	スポンサー セッション 1-2	スポンサー セッション 1-3	スポンサー セッション 1-4	スポンサー セッション 1-5

- ▼各セッション枠時間
- ・基調講演 : 40分
 - ・スポンサーセッション : 30分

※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。

ITmedia エグゼクティブ Day協賛プラン

編集部がゲスト講師をアサインして、
対談企画をコーディネート！

企業のDXに対して常に情報を発信しており、視聴者からの信頼感も高いゲストとの対談形式で企業・ソリューションをアピールいただくことで、訴求力を高めます。



ITmedia エグゼクティブ
編集長

浅井英二

スポンサーセッション

サファイア
(限定1社)

●
Live配信+アーカイブ

ゴールド

●
Live配信+アーカイブ

セクションリスト

—

対談コーディネート

●

—

—

セッションアンケート

●

●

—

申込者リスト 想定250名

●

●

●

自セッションの
視聴者データ・レポートサイト

●

●

—

事前アンケート結果

●

●

●

スポンサーロゴ掲載

●

●

●

資料配布

●

●

—

開催報告書

●

●

●

¥3,700,000-

¥2,800,000-

¥1,800,000-

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の来場申込者データ数に達しない可能性があります。
※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

(すべて税別・グロス価格)

ITmedia インタープライズ Day協賛プラン

	ゴールド	セクションリスト	プラチナ
スポンサーセッション	● Live配信+アーカイブ	—	● Live配信+アーカイブ
セッションアンケート	●	—	●
申込者リスト <small>想定250名</small>	●	●	●
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●	—	●
事前アンケート結果	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●
資料配布	●	—	●
開催報告書	●	●	●
ITmedia インタープライズ Day 申込者リスト	—	—	●
	¥2,400,000-	¥1,500,000-	¥3,200,000-

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の申込者数に達しない可能性があります。
 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
 ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

他Sectionのリストも気になる方に！

複数リスト購入割引

左記いずれかのプランをご購入の上で、
他セクションのリストをご購入の場合、
2件目以降を10万円OFF！

1つ目のプラン



+

ITmedia インタープライズ Day



※リストは一部重複いたします。
 ※締切は希望Sectionによって異なります。

プラチナのみ
12/2締切

(すべて税別・グロス価格)

ITmedia DX Summit

LIVEセッション 録画データ納品

セッションがあるプランにお申込みいただき、LIVEでご登壇いただいた際に、実際に配信した**貴社のLIVEセッションの録画データをmp4形式で納品**いたします。

※配信時のままの状態となるため、編集はありません。

5万円

納品リストへの ABMデータ追加

ITmediaのコンテンツ閲覧状況を分析して得た、各企業の導入検討状況を推察できるABMデータを納品リストに追加します。**ABMデータで企業インテントを可視化**することで、納品リードから効率的な案件発掘が可能です。

※データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品となります。

20万円

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）



もっと自社の
コンテンツを見た人の
リードがほしい！

セッション 動画活用 リード獲得

セミナーにご掲載いただく講演動画や製品資料をTechTargetジャパン/キーマンズネットに転載。ご準備いただいたコンテンツをそのまま活用し、セミナー終了後にも手間なく【属性&件数を保証したリード獲得】を継続実施していただけます。

30万円～

詳細はこちら <http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-09-02/2bfy1tr>



もっとサービスを
知ってほしい！
理解を深めて
ほしい！

行動履歴 ターゲティング タイアップ (イベントレポート)

読者の記事閲覧履歴を基に「興味・関心」の高い人を貴社タイアップ記事へ誘導します。読者の行動データを外部サービスへ連携し拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことが無くても、同じ「興味・関心を持つ人」を捕捉することでリーチを広げます。

~~170万円~~

150万円

※本メニューは、ライブ/オンデマンド配信、録画データ等を視聴しながら要点をまとめるものです。別途取材は行いません。

詳細はこちら <https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-09-09/2bjcm9g>



獲得したリードを
ナーチャリングしたい！

アフターフォロー セミナー

編集部が貴社の訴求メッセージと読者の関心を掛け合わせた企画を設計。講師のご提案・アサインから、集客(60名)・配信までITmediaがサポート致します。ご希望により、編集部や基調講演講師とのパネルディスカッションも可能です。

~~245万円~~

230万円

詳細はこちら <http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

ITmedia DX Summit

お申し込みからの流れ

2022年12月2日(金)
※テーマによって異なります

申込締切

締め切りまでに**利用申込書**を担当営業にご提出ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内させていただきます。

一般向け
告知準備

イベント告知にも関連する、セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、
貴社ロゴデータなど合わせてご提出いただき、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

2023年1月上旬～

イベント告知
開始

事務局にて、集客のためのイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。

開催準備

開催に向けて、**配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品**の場合のご講演データなどを事務局にご提出ください。
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りさせていただきます。

2022年2月下旬～
3月上旬

イベント開催

イベント本番となります。ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに弊社スタジオ受付にお越しください。また、開催中はレポートサイトにてリアルタイムにセッション視聴者数などをご確認いただけます。

終了後～

会期終了

会期終了後、**3～5営業日以内に事前申込者のリスト**をご提出させていただきます。
また終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出させていただきます。

※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

APPENDIX

ITmedia ***DX Summit***

セッションの視聴画面イメージ

ご講演者情報

貴社名と合わせまして、ご講演者様の氏名、肩書、お写真を掲出させていただきます。

配布資料

貴社セッション視聴者様に向けての配布資料を設置可能です。最大3点まで設置できますので、ご希望の資料を支給ください。

Q&Aフォーム

ご希望の場合は視聴者からの質問を受け付けるQ&Aフォームをご利用いただけます。



ご講演映像

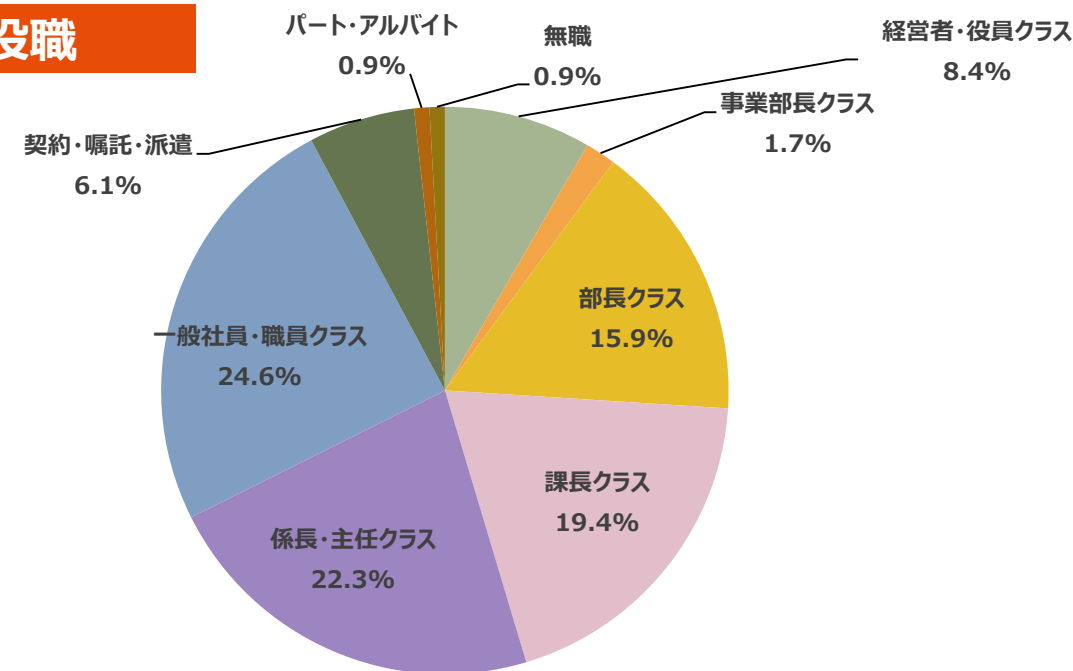
ご講演の映像を放映します。ライブ配信で投影資料がある場合は、事前に事務局に送付いただければ、ご講演者様と組み合わせた画面構成に調整いたします。

セッションアンケート

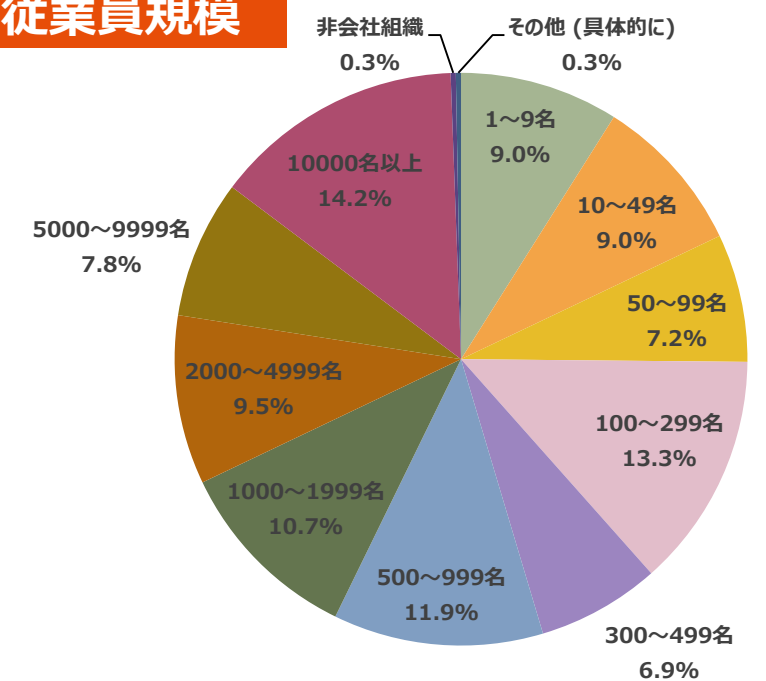
貴社セッションの視聴者様に向けてアンケートを行っていただくことも可能です。最大9問まで設定可能ですので、ご希望の場合は設問内容をご連絡ください。



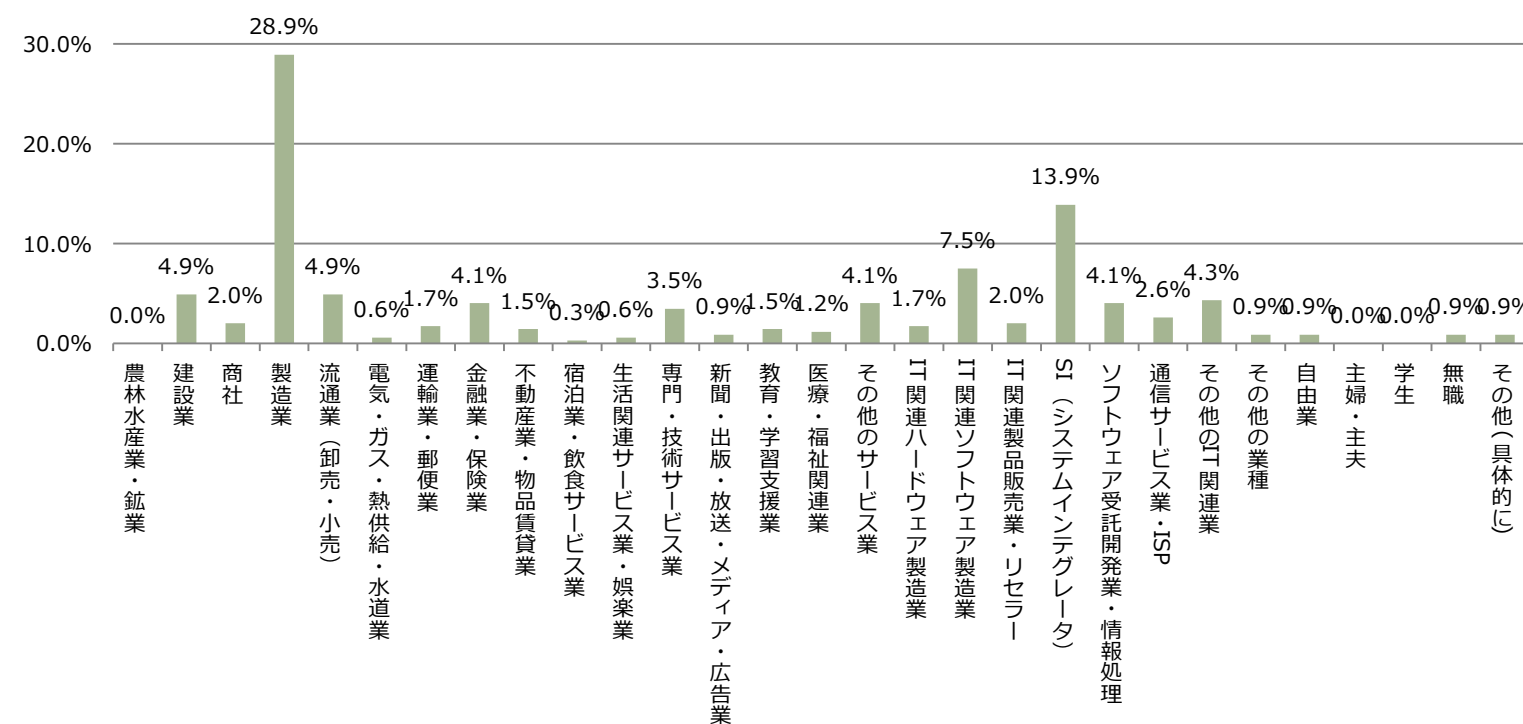
役職



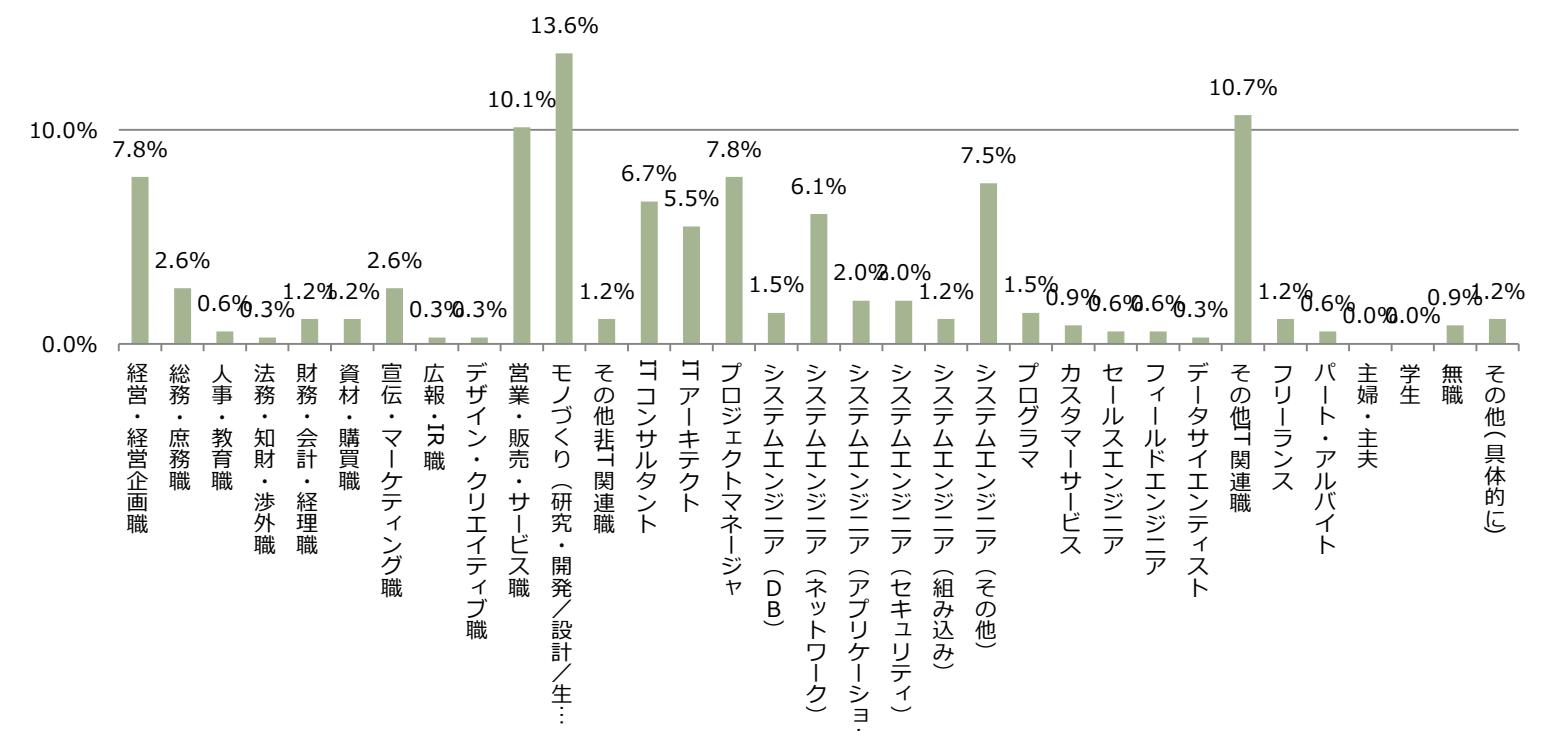
従業員規模



業種

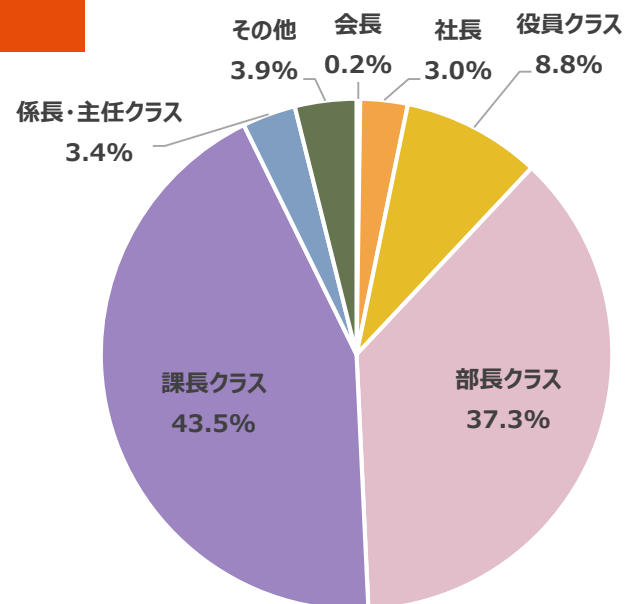


職種

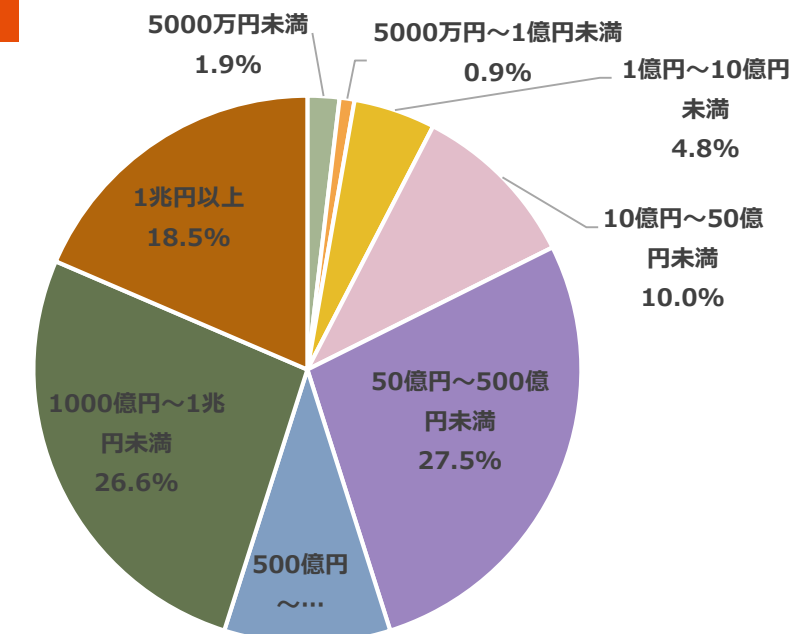




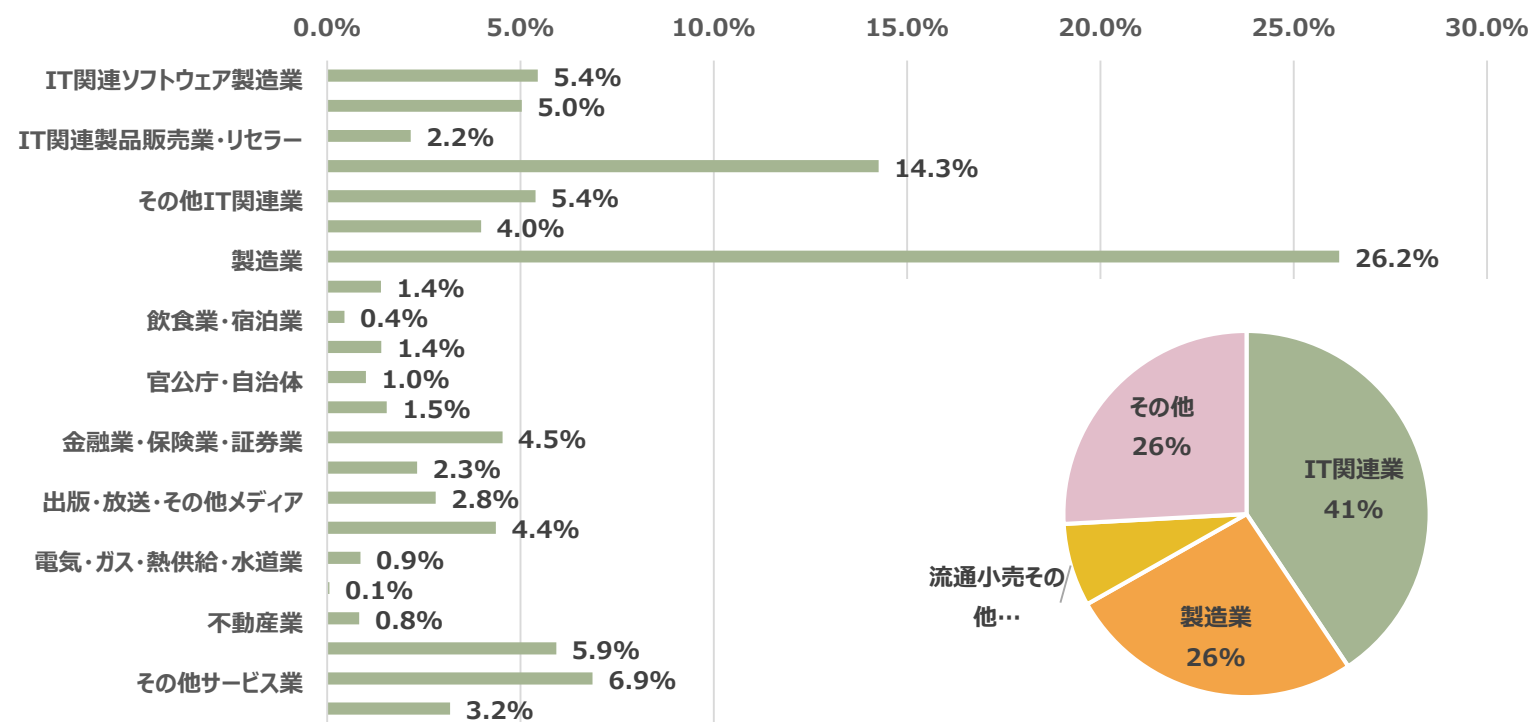
役職



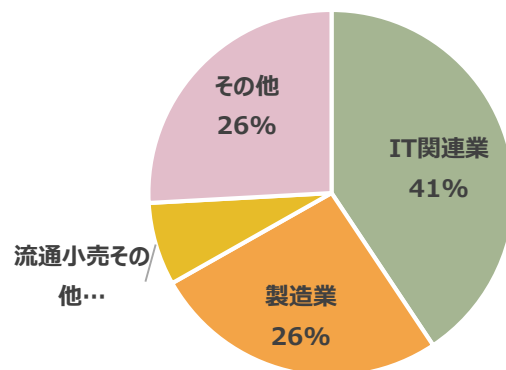
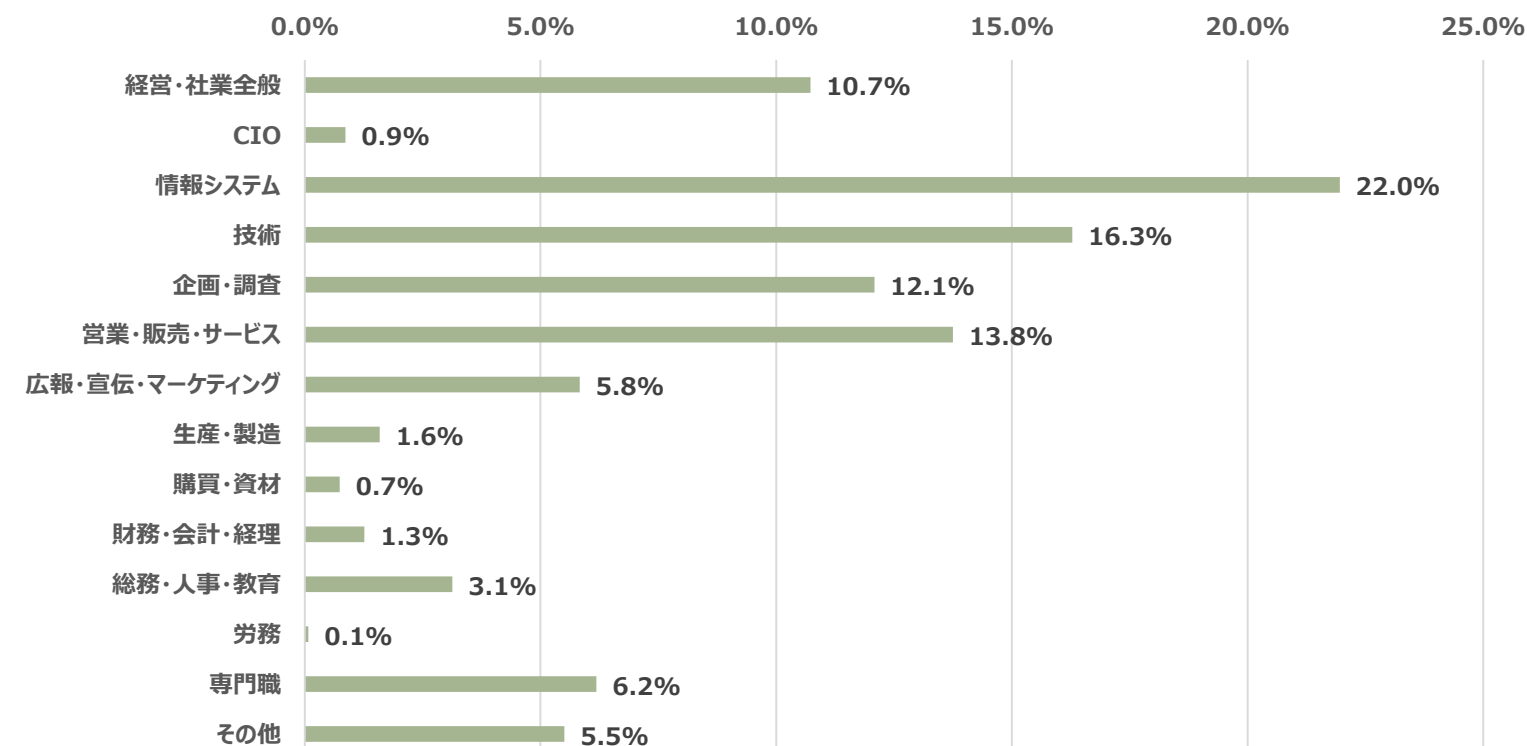
年商規模



業種



職種



ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

- リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害**
配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、
万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。
- リスク3：電源障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。
- リスク4：機材障害**
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク5：視聴側における障害**
総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報の取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。
本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内の連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。
また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承ください。

ITmedia
IT"セ"ンター

ITmedia
IT"ア-プライズ"

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F

MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp